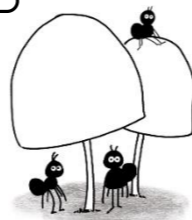


# からきだの道リニューアル

からきだの道開園20周年を機にリニューアル計画を策定しました。



## 基本理念

からきだの道の近隣に生活する人たちはもとより、訪れる人たちにいつまでも親しまれるみどりへ！

みどりの質の向上

新たな魅力創造

利活用の促進

次世代への継承

からきだの道のみどりの質の向上はもちろんのこと、新たな魅力を創出し、多摩市とのこれまで以上の協働によって、「守り育てる」だけでなく「活かす」ことで大切な地域財産として次世代へと継承します。

### I

植物は経年変化や生育条件などの変化によって姿を変え、時には倒木・落枝の問題となることもあるため、伐採基準を定め適正な植栽の維持管理を行います。

### 植生の最適化

#### ① 植生の実態調査

・からきだの道全体の樹木や花木の分布状況把握



#### ② 間伐・萌芽更新

・密生化した樹林の密度を適正にするために間伐対象木の伐採  
・萌芽更新により樹木(クヌギ・コナラ等)の再生



#### ③ 除伐・剪定

・除伐対象木(枯損・劣化木・病虫害木・危険木・障害木など)の伐採  
・美観を損ねている樹木や花木の剪定もしくは伐採



#### ④ 竹林の整備・再生

・竹林外の竹の除伐と竹林の密度を適正にするために竹の間伐  
・シノダケ林の再生(篠竹はかつて農閑期の目簾づくりの原材料)



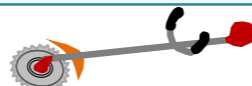
#### ⑤ 植樹

・植生の目標に適合する樹種を選定し譲り受けたり育てた苗木の植樹



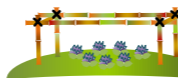
#### ⑥ 下草刈り・林床整備と施肥

・林床植物の生育を促すために雑草刈り込みと花木育成のための施肥



#### ⑦ 希少植物の保護

・自生している希少植物(絶滅危惧指定植物含む)の保護



### II

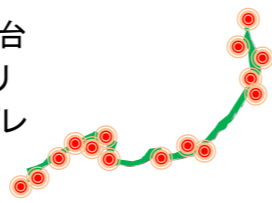
開園当初に備えていた各設備の基本的な機能と品質をできる限り維持向上するため、施設ごとに点検調査の上、計画的に取替・改修を行います。

### 施設の最適化

既存施設(全15カ所)の改修・整備

- ①からきだの道入口広場、②見晴らし広場、③寺ノ入の湧水、④展望台
- ⑤かぶとむしの林、⑥おしゃもじの森、⑦梅林、⑧バードサンクチュアリ
- ⑨草花園、⑩砦山、⑪お花見広場、⑫尾根の径、⑬からきだ百本シダレ
- ⑭ヤエザクラの原っぱ、⑮からきだの道西端入口

※各施設の場所は『マップ』(6、7頁)、『将来イメージ』(14、15頁)を参照



### III

起伏に富んだ全長1.8kmに及ぶ散策路の通行の安全・安心を確保するため、老朽化した枕木階段の交換補修や散策路内の見通しの改善などを行います。

### 散策路の適正な保全

#### ① 枕木や丸太階段の交換補修

・耐久性に優れた素材を使った階段に交換補修



#### ② 手摺や柵の交換補修と木製階段などの取替え

・壊れた手摺や柵の交換補修と傷んだ木製階段や木製橋の取替え



#### ③ 散策路内の見通し確保

・繁茂した植栽の伐採などによる見通しの改善



#### ④ 樹名板の設置

・からきだの道を訪れる人が散策を楽しめるよう樹名板の製作取付け



### IV

多摩市の「みどりの拠点」の一つとして、周辺の緑と一体となって街並みと調和した質の高い景観の形成を図ります。

### 良好な景観づくり

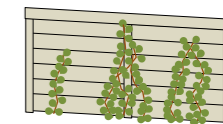
#### ① 全体にわたる景観づくり

・将来ビジョン「花とみどりの名所」  
(からきだの道の上層にヤマザクラ、下層にサトザクラが咲き誇り、四季を通じて楽しめるよう、桜以外の色々な花木で彩るイメージ)  
・常緑樹と落葉樹の全体バランス「3対7」  
(落葉樹を多くすることで夏の木陰と冬の陽だまりを実現でき、新緑・紅葉・落葉といった葉の変化で四季の移ろいも味わえる)



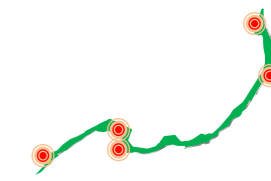
#### ② 万年塀の修景

・府中カントリーとの境界部は万年塀(鉄筋コンクリート組立塀)が多く景観的ダメージが大きいため、壁面緑化対策の実施  
(ヒメイタビカズラの育苗数を増やし緑化スピードを上げる)



#### ③ 新たな絶景スポットづくり

あじさい坂(草花園から砦山にかけた法面のアジサイの群生拡大)  
つつじ山(見晴らし台下の三角法面のつつじの密集度向上)  
さくら山(ヤエザクラの原っぱの法面に多種多様なサクラ育成)  
すいせん畑(かぶとむしの林入口の木製橋下のスイセンの群生拡大)  
春秋の七草園(草花園近くで日本古来の七草の育成)



### V

憩い、自然学習、遊び、レクリエーション、地域コミュニケーションの場など、多様な機能を発揮できる緑地として後世に受け継ぎます。

### 利用価値向上の仕組みづくり

#### ① 生きものを育む仕組み

・多種多様な生物(昆虫、野鳥、水生生物、小動物など)の生育環境づくり  
・それらの生物や育成の仕掛けを観察できる場づくり



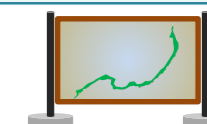
#### ② 自然とふれあう仕組み

・雑木林などの自然を活かした様々な遊びや体験学習ができる場づくり



#### ③ 昔の唐木田を伝える仕組み

・農耕文化や古くから語り継がれている民話や伝説を後世に伝承  
・歴史や文化を紹介するサイン(名板、説明板など)の改修・新設



#### ④ 地域への関心・愛着を育む仕組み

・上記を近隣小・中学校、コミセンなどと連携して実践  
・ガイドブック制作、パネル展などの各種イベント開催



#### ⑤ 隣接公園とのつながりの仕組み

・中沢池公園とつながる小径の検討

